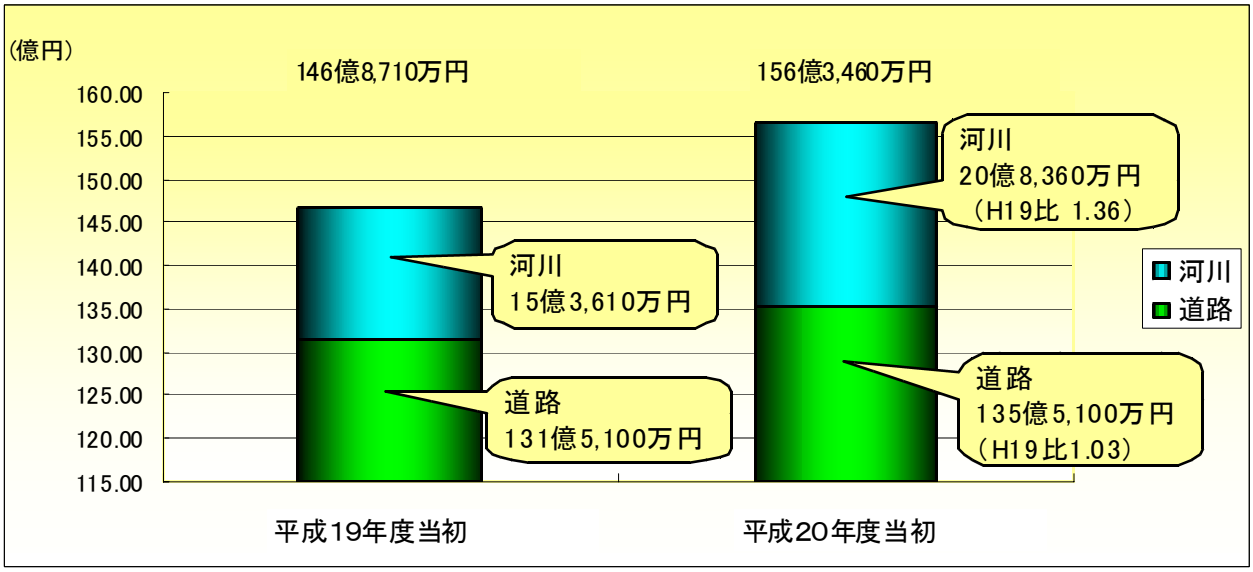
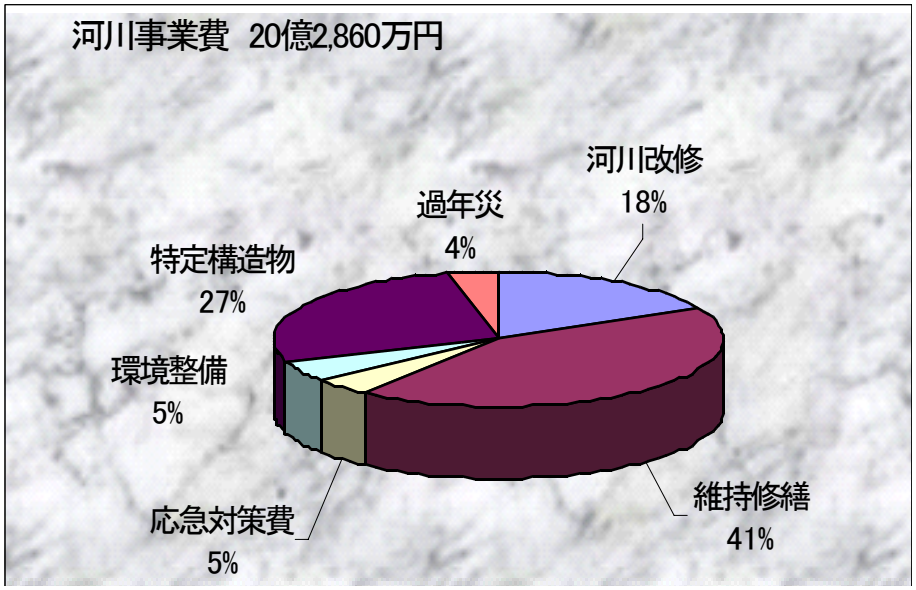
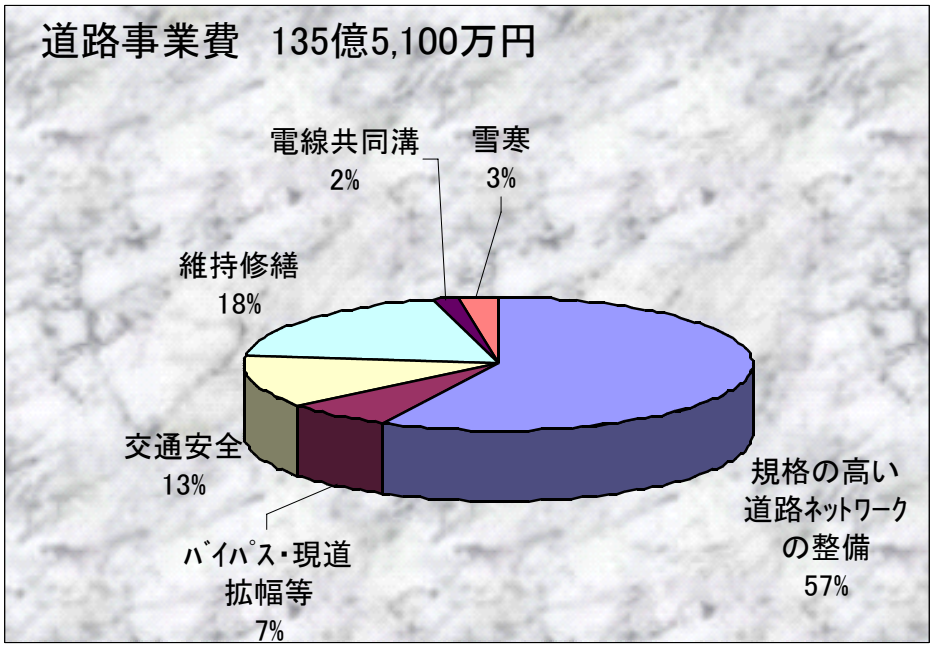
○平成２０年度の予算概要







事業のポイント

【安全で安心できる地域づくり】

〇雄物川・割山地区新屋水門整備事業の整備促進

整備から約67年が経過した新屋水門では、老朽化が進み、大規模出水又は地震によっては、水門が転倒する危険性が高いことが判明しました。新屋水門の治水機能の回復と構造物の強度確保のため、水門の全面改築を実施します。

今年度は、水門改築工事に着手します。（参考資料－１）

〇一般国道7号下浜道路の整備推進

下浜道路L=6.2kmは、一般国道7号秋田市下浜地区の交通渋滞の解消や沿道の生活環境の改善、観光時における観光交通と通過交通の分離及び交通事故の削減のほか、地域間の交流・連携の活性化などを目的に平成19年度新規事業化となり、調査設計等を進めています。

今年度は、地元説明会や道路予備設計、用地調査を実施します。

（参考資料－2）

〇橋梁（一般国道7・13・46号）の予防保全推進

秋田河川国道事務所管内の一般国道7・13・46号は主要幹線道路であり、緊急輸送道路にも定められております。地震などで被災した場合に緊急輸送路としての機能が損なわれ、被災地の救済・復旧活動に支障をきたすと共に、地域社会・経済活動に大きな影響を及ぼす恐れがあるため、早急に橋梁補修を行い予防保全により安全性の向上を図る事を目的とし、今年度は古城橋など10橋の補修工事を実施します。

（参考資料－3）

〇一般国道46号仙岩道路のトンネル設備更新の整備推進

一般国道46号仙岩道路における各種トンネル管理設備を計画的に更新し、トンネルの安全性向上に向けた事業を行います。今年度は仙岩トンネルの受変電設備や4トンネルの光伝送装置の設備更新を行い3年間に渡る大規模な設備更新を完了します。（要更新設備：制御関連設備、非常警報設備・火災検知器・受変電設備等）

（参考資料－4）

〇一般国道7号「土崎自歩道」の推進

秋田市交通バリアフリー基本構想が策定（平成16年8月）され、重点整備地区としてJR土崎駅周辺地区L=0.9kmが選定されました。

旅客施設や周辺道路等のバリアフリー化と連携し、歩道の拡幅や段差改善、無電柱化、融雪設備の設置などにより、夏期・冬期を問わず高齢者や障害者等の円滑な移動及び歩行者の利便性や安全性の向上を目指します。

本事業については、平成17年度より住民参加による計画づくりを進めており、今年度は用地取得及び一部工事を実施します。（参考資料－5）

【強い東北の創造】

〇雄物川・秋田地区かわまちづくり整備事業の整備推進

本事業では、地域と民産学官が連携し、水とのふれあいや自然体験の場の創出、沿川で行われる、まちづくりやカヌーなどの地域活性化行動と周辺観光資源を結びつけ、新たな観光の魅力を引出し、秋田地区全体の活性化を図るために、秋田の個性・歴史・文化と一体となった「かわまちづくり」を進めていきます。その一環として、「かわ」と「まち」をつなぐフットパス等の整備を行います。

今年度は、地域の方々と「かわまちづくり」の検討を進め、環境整備を推進します。

（参考資料－６）

〇一般国道7号象潟仁賀保道路及び仁賀保本荘道路の整備推進

一般国道7号の交通混雑の緩和や騒音など沿道環境の改善、また事故などの災害時の代替路としての機能確保などを目的に、一般国道7号の自動車専用道路の整備を進めています。

「象潟仁賀保道路L=13.7km」については、設計協議、用地買収、改良工事を推進します。

「仁賀保本荘道路L=12.5km」については、平成19年9月17日に開通した区間(にかほ市両前寺から本荘IC間L=11.2km)の南側について、改良工事を推進します。

（参考資料－７）

【魅力ある都市づくり】

〇地域高規格道路　一般国道４６号角館バイパスの整備推進

角館バイパスL=6.1kmは、秋田県と岩手県の地域間交流の促進、交通隘路(直角曲がり)の解消及び観光交通の円滑化、冬期交通環境の改善のほか、通過交通排除による現道の交通混雑の緩和などを目的に整備を進めています。

今年度は、平成19年8月4日に開通した区間(仙北市田沢湖羽根ヶ台～角館町小勝田間L=2.6km)の西側について、継続して改良工事を推進します。

（参考資料－８）

〇一般国道１３号河辺拡幅の整備推進

河辺拡幅L=6.6kmは、一般国道１３号秋田市河辺地区の交通混雑の解消及び沿道の生活環境の改善、三次救急医療施設や秋田空港への速達性向上のほか、秋田自動車道へのアクセス向上による地域間交流の促進を目的に整備を進めています。これまで、秋田市河辺北野田から秋田市上北手古野までのL=2.1kmについて供用済です。

今年度は、平成20年3月19日に開通した区間(秋田市河辺北野田高屋地内のL=0.3km)の東側について、設計協議や用地買収を推進します。

（参考資料－９）